

# 文部科学大臣が指定する看護師学校等(高等学校)の 指定申請等の提出書類 記載例

※各様式、及び任意様式書類の一部について、記載例等を掲載しています。

※概要は、文部科学省ホームページ(高等教育局医学教育課)「文部科学省が指定する看護師学校等の指定申請等提出書類の作成手引」を参照してください。

※高等学校の申請の提出に用いる書類の様式は、文部科学省ホームページ(高等学校産業教育振興室)「高等学校における看護教育」を参照してください。

番号	提出書類	様式	ページ
	文部科学大臣が指定する看護師学校等(高等学校)の指定申請等の提出書類, 提出期限		2
01	指定申請書, 変更承認申請書, 変更届出書, 指定取消し申請書	第1号	3
02	設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類	—	
03	変更事項, 変更年月日, 変更する理由及び変更に伴い措置した事項、を記載した書類	—	5
04	指定の取消しを受けようとする理由, 予定時期, 在学中の生徒があるときはその措置	—	
05	学校の概要を記載した書類, 教育課程と指定規則との対比表	第2号(その1) 第2号(その2) ①専攻科2年課程用 ②5年一貫課程用 ③准看課程用	7
05-1	添付①校舎等建物の配置図	—	
05-2	添付②校舎等建物平面図	—	
05-3	添付③(校舎が未整備の場合)工程表または工事計画	—	
05-4	添付④専門科目に係る主たる図書目録	—	
05-5	添付⑤専門科目に係る機械器具, 標本, 模型の名称及び数を記載した書類	—	
05-6	添付⑥収支予算及び向こう2年間の財政計画を記載した書類	—	
05-7	添付⑦教育課程変更前と変更後の新旧対照表	—	
05-8	添付⑧実習指導計画	—	13
05-9	添付⑨実習指導体制	—	16
06	各授業科目の内容を記載した書類	第2号(その3)	17
07	理事会等の議事録(理事会等に付していない場合は, 意志決定過程がわかる資料)	—	
08	学則	—	
09	校長及び教員の氏名, 経歴, 概要等を記載した書類	第3号	18
10	校長及び教員の履歴書	第4号	19
11	実習施設に関する書類, 総括表 実習施設の概要 承諾書	第5号(その1) 第5号(その2) 第5号(その3)	20
11-8	添付⑧実習指導計画	—	13 05-8と同
11-9	添付⑨実習指導体制	—	16 05-9と同
	チェックリスト	チェックリスト	24
	文部科学大臣が指定する看護師学校等の関係法令		

文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付 産業教育振興室  
2022年4月28日版

文部科学大臣が指定する看護師学校等(高等学校)の指定申請等の提出書類, 提出期限

2022. 4. 28. 版

※○印は各申請に必要な書類を示す。

番号 (注1)	提出書類	様式	指定申請	変更承認申請					変更の届出		指定取消申請	備考
				課程 修業 年限	入学 定員 (増)	入学 定員 (減)	教育 課程	校舎の 各室の 用途及 面積	実習 施設	設置 名称 位置		
01	指定申請書, 変更承認申請書, 変更届出書, 指定取消し申請書	第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02	設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類	-	○									次の資料を添付すること。 ○設置の趣旨等を記載した書類(例)①設置の趣旨及び必要性(当該都道府県の看護職需給関係・要望, 入学定員の確保の方策等), ②学科の特色, ③教育課程編成の考え方及び特色, ④教員組織の編成の考え方及び特色, ⑤卒業後の進路先, ⑥実習の具体的計画等
03	変更事項, 変更年月日, 変更する理由及び変更に伴い措置した事項, を記載した書類	-		○	○	○		○ ◆備考欄参照	○	○	○	◆校舎の各室の用途及び面積の変更の場合, 校舎移転による位置の変更の場合は, 変更の概要が分かる書類(図面等)を添付し, 変更部分をマーキングすること。
04	指定の取消しを受けようとする理由, 予定時期, 在学中の生徒があるときはその措置	-									○	
05	学校の概要を記載した書類, 教育課程と指定規則との対比表	第2号(その1) 第2号(その2) ①2年課程用 ②5年一貫課程用 ③准用課程用	○	○	○	○						対比表の様式は, 該当する入学年度のものを使用し作成すること。
05-1	添付①校舎等建物の配置図	-	○	○	○							
05-2	添付②校舎等建物平面図	-	○	○	○				○			各室の面積を記載し, 専用と共用別にマーキングをする
05-3	添付③(校舎が未整備の場合)工程表または工事計画	-	○									
05-4	添付④専門科目に係る主たる図書の見録	-	○									
05-5	添付⑤専門科目に係る機械器具, 標本, 模型の名称及び数を記載した書類	-	○									
05-6	添付⑥収支予算及び向こう2年間の財政計画を記載した書類	-	○	○	○	○	○					公立高校は不要
05-7	添付⑦教育課程変更前と変更後の新旧対照表	-						○				【変更前】【変更後】を示し, 変更部分にマーキングをする。
05-8	添付⑧実習指導計画	-	○					◆備考欄参照				◆臨地実習の科目に変更がある場合に提出・変更後の年次別実習計画(実習時期, 実習施設及び実習科目, 施設別生徒数及び引率教員数等)
05-9	添付⑨実習指導体制	-	○					◆備考欄参照				◆臨地実習の科目に変更がある場合に提出・変更後の実習目標, 実習内容, 評価方法, 単位認定基準, 安全管理対策(災害・感染管理・事故・個人情報の取扱いなど) ※実習要項の該当部分の添付も可
06	各授業科目の内容を記載した書類	第2号(その3) ※任意形式も可	○(全科目)	○(全科目)				○(変更科目のみ)				様式は任意形式も可
07	理事会等の議事録(理事会等に付していない場合は, 意志決定過程がわかる資料)	-	○	○	○	○	○			○	○	公立高校は不要
08	学則	-	○	○	○	○	○			○	○	学則の変更の場合は, 新旧対照表を添付すること。
09	校長及び教員の氏名, 経歴, 概要等を記載した書類	第3号	○	○				◆備考欄参照				◆入学定員増に伴い教員を増員する場合のみ提出すること
10	校長及び教員の履歴書	第4号	○	○				◆備考欄参照				次の資料を添付すること。 ①教員の免許状等の写し ◆入学定員増に伴い教員を増員する場合のみ提出すること
11	実習施設に関する書類 総括表(注2) 実習施設の概要 承諾書	第5号(その1) 第5号(その2) 第5号(その3)	○	◆備考欄参照	◆備考欄参照						○	◆実習施設を追加する場合は, 同時に実習施設の申請を行うこと。
11-8	添付⑧実習指導計画	-		○	○						○	※【変更前】【変更後】を示し, 変更部分にマーキングをする。 年次別実習計画(実習時期, 実習施設及び実習科目, 施設別生徒数及び引率教員数等)
11-9	添付⑨実習指導体制	-									○	・変更後の実習目標, 実習内容, 評価方法, 単位認定基準, 安全管理対策(災害・感染管理・事故・個人情報の取扱いなど) ※実習要項の該当部分の添付も可
	提出期限			指定, 承認を受けようとする日から 起算して6か月前			承認を受けようとする日から 起算して3か月前		変更届出事由が生じてから 1か月以内	承認を受けようとする日から 起算して3か月前		

【提出方法】申請・届出事項ごとに提出書類をまとめ, 電子メールで提出する。

(注1) この番号ごとに書類(PDF方式)を作成し, 提出すること。データファイルの名称は, 「当該番号\_提出書類欄の名称(学校・学科名)」とすること。

例: 「02\_設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類(〇〇高等学校●●科)」 「05-8\_実習指導計画(〇〇高等学校●●科)」

「11\_総括表(〇〇高等学校●●科)」, 「11\_実習施設の概要(〇〇高等学校●●科)」

PDFデータは, 作成した書類の様式等に漏れ・崩れがないか, 不鮮明でなく読み取り可能かを確認し作成すること。

(注2) 総括表は, 申請事項に応じ「指定申請の場合」もしくは「変更承認申請の場合」の様式を使用すること。

01 指定申請書, 変更承認申請書, 変更届出書, 指定取消し申請書

文部科学省高等教育局医学教育課「文部科学大臣が指定する看護師学校等の指定申請等提出書類の作成手引」に記載されている記入例を参照し作成すること。

※申請学科、申請内容ごとに様式を作成すること。

様式第1号  
(指定申請の場合)

看護師学校指定申請書

(注) 学校名は記載しない。看護師学校, 准看護師学校など学校種別のみ。

○ ○ ○ 第 ○ 号  
○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日

文書番号は任意記載

文 部 科 学 大 臣 殿

申請者の職名及び氏名

設置者を記載する。

このたび、●●県立虎ノ門高等学校 ○○科 を、保健師助産師看護師法第21条2項に規定する学校として指定していただきたく、保健師助産師看護師法施行令第12条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

看護師学校の指定申請の場合

申請・届出事項に関する法令を記載すること。

様式第1号  
(変更承認申請の場合)

看護師学校変更承認申請書

○ ○ ○ 第 号  
○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日

文 部 科 学 大 臣 殿

学則（教育課程）の変更の場合  
※変更承認・変更届出申請書は、申請・届出内容ごとに別々に作成し提出すること。

申請者の職名及び氏名

このたび、●●県立虎ノ門高等学校 ○○科 の学則（教育課程）の変更について、保健師助産師看護師法施行令第13条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

申請・届出事項に関する法令を記載すること。

03 変更事項, 変更年月日, 変更する理由及び変更に伴い措置した事項、を記載した書類

(学則 (教育課程) の変更・記入例)

●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の学則(教育課程)を変更する理由について

1 変更事項

●●県立虎ノ門高等学校 ●●科の学則 (教育課程) の変更

2 変更年月日

○○年○月○日

3 変更する理由

本校の教育目標である「  
」のもと、教育課程を編成し実施してきた。しかし現  
行では、「  
」のような課題が明らかとなったため、さらに「  
」としていくために、○○年度入学生より学則 (教育課程) を変更しようとするものである。

4 変更に伴い措置した事項

今回の変更点は以下の通りである。

1) ○○○○のため、下記の通り科目を新設する。

○○科○年生に科目「□□□(○単位、■時間)」を新設し、●●●●を目指す。

2) ○○○○のため、下記の通り変更する。

・変更前 ○○科○年生に科目「□□□(○単位、■時間)」

・変更後 ○○科○年生に科目「□□□(●単位、□時間)」

変更事項に応じ工夫し記  
載する。  
添付資料・新旧対比表な  
どと整合性を持たせ記載  
すること。

5 事務担当者

●●県立虎ノ門高等学校 □□ ●● ●●

電 話 ○○-○○○○-○○○○ (直通)

E-Mail ○○○○○@○○○○○

後日、問い合わせる場合  
があるので、本件事務担  
当者の連絡先を記入する  
こと。

(実習施設の変更・記入例)

## ●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の実習施設を変更する理由について

### 1 変更事項

#### 実習施設の変更

【実習施設の追加申請】使用開始3か月前までに申請すること  
【既存の実習施設に変更事項があり、申請が必要な場合】  
設置者の変更、実習施設の合併、実習施設の遠方への移転、実習施設の分割・増設

※詳細は高等局手引き（第12版はp8）を参照。

### 2 変更年月日

○○年○○月○○日

### 3 変更する理由

これまで目指してきた○○に関する●●●の内容の充実のため、実習施設を追加しようとするものである。

変更事項・理由に応じて工夫し記載すること。

### 4 変更に伴い措置した事項

#### ・実習施設の追加

①実習施設 ②科目名 ③使用開始時期・使用学年

#### ・申請済実習施設の変更事項

①実習施設 ②変更事項(名称変更、科目の追加、施設の代表変更など)

※申請済の実習施設に変更事項が生じ同時に報告する場合にも、「4 変更に伴い措置した事項」に記載し、報告すること。

### 5 事務担当者

●●県立虎ノ門高等学校 (職名・氏名)

電話 ○○-○○○○-○○○○ (直通)

E-Mail ○○○○○@○○○○○

後日、問い合わせる場合があるため、本件事務担当者の連絡先を記入すること。

05 学校の概要を記載した書類、教育課程と指定規則との対比表

設置年月日は、高等学校の設置年月日。( )内は指定を受けている学科・課程の指定日。

看護師の免許を有する専任教員から該当者を記入。

当該申請に係る学科の教員組織の人数を記入する。  
※学科の新設・入学定員の増減などにより、年度ごとの人数の相違がある場合は、完成年度人数を上段、記載年度人数を下段( )内に記入。

当該申請に係る学校の教員以外の職員の人数を記入する。  
人数の記載法は「教員組織の概要」と同様。  
※教育課程申請の場合は不要。  
空欄またはこの欄を削除可能。

申請に係る学科の教員人数を記入する。人数の記載法は「教員組織の概要」と同様。

申請に係る学科の専用施設、学校の共用施設などの面積を記入。区別が難しい場合は備考欄を活用し記入。  
※整備途中の場合は、上段に完成年度、下段に申請時の面積を記入。

様式第2号(その1)

学校の概要を記載した書類

事項	記入欄						備考	
設置者の氏名及び住所	●●県, 学校法人○○○ など (●●県中央区○○1丁目1番1号)							
学校の名称	虎ノ門高等学校							
学校の位置	●●県千代田区霞が関3丁目2番2号							
設置年月日 (指定年月日)	昭和30年4月1日(平成14年4月1日指定)							
校長の氏名	□□ □□							
教務に関する主任者の氏名	○○ ○○							
申請学科の概要	学科の名称	修業年限	入学定員	収容定員	在学者数	承認を受けようとする時期	所在地	
	衛生看護科専攻科	5年	40人	200人	202人	●●年●月●日	●●県千代田区霞が関3丁目2番2号	
教員組織の概要		教諭		助教諭		講師	計	実習助手
	専任	35人 ( 32人)		4人 ( )		10人 ( )	49人 ( 46人)	2人 ( )
	兼任	人 ( )		人 ( )		20人 ( )	20人 ( )	人 ( )
	計	人 ( )		人 ( )		30人 ( )	69人 ( 66人)	2人 ( )
教員以外の職員の概要	職種	専任		兼任		計		
	事務職員	2人 ( )		人 ( )		2人 ( )		
		人 ( )		人 ( )		人 ( )		
		人 ( )		人 ( )		人 ( )		
	計	2人 ( )		人 ( )		2人 ( )		
看護師の資格を有する専任教員	学科の名称	教諭		助教諭		講師	計	
	衛生看護科専攻科	7人 ( )		4人 ( )		1人 ( )	12人 ( )	
校舎	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		
	m <sup>2</sup> ( )		m <sup>2</sup> ( )		m <sup>2</sup> ( )		m <sup>2</sup> ( )	

他の看護師等養成に係る学科と共有の教室がある場合は( )に記入。

複数の学科で共有するなど当該申請に係る学科等ごとに記入できない場合は、総数を記入し、「備考」の欄にその旨を記入する。  
※学科の新設などで整備途中の場合は、上段に完成年度、下段に申請時の面積を記入。

高校課程の「看護臨床実習」は、教育内容(●●看護学など)も列記すること。

この欄には、施設数の総計ではなく、施設実数を記入すること。様式第5号(その1)総括表の施設数と一致すること。

全ての授業科目について記入。専任教員配置について、教員が複数の授業科目を担当する場合にはいずれかに人数、他方は★を記入。

(例)備考欄には卒業(修了)要件を記入すること。各課程において要件が区別されている場合にはそれぞれ記入。

教室等	専用の普通教室		専用の実習室		情報処理学習施設				
	6室 ( )		3室 ( )		2室 ( )				
図書室	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	※教育課程申請の場合は、空欄または削除可能						冊		
図書・設備	基礎分野に関する図書	専門基礎分野に関する図書	専門分野に関する図書	その他の図書	合計	学術雑誌	図書は併設学科◇◇科と共有している。		
	●●●●冊 ( )	●●●●冊 ( )	●●●●冊 ( )	●●●●冊 ( )	●●●●冊 ( )	●●種類 ( )			
	機械器具		標本・模型		視聴覚資料				
	△△△点 ( )		△△△点 ( )		△△△点 ( )				
併設学科の概要	学科の名称	修業年限	入学定員	収容定員	在学者数	開設した時期	所在地		
	○○科 ●●科	3年 3年	80人 120人	240人	人				
※教育課程申請の場合は、空欄または削除可能									
臨床実習施設の概要	授業科目名		実習施設数		実習施設における実習指導者数				
	1年看護臨床実習(基礎看護学)		2	施設	6	人			
	2年看護臨床実習(基礎看護学、地域・在宅看護論)		6	施設	30	人			
	母性看護実習		3	施設	9	人			
				施設		人			
			施設		人				
計(実施施設数)		51	施設						
授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置			備考
			必修	選択	自由	教諭	助教諭	講師	実習助手
	現代の国語	高1	4			1			
	基礎看護	高1	4			1	2		1
	成人看護	高2	2			1			
	基礎看護	高2	4			2		2	★
	基礎看護	高3	1			★	1		
	配当年次ごとに記入					科目を重複して担当している場合、いずれかは★を記入			
成人臨床看護Ⅰ	専1	2			1				
看護方法論Ⅰ	専1	2			★	1			
地域包括看護論	専2	1					1		
科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その2)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること。								(専攻科課程)単位あたりの時間数は高等学校学習指導要領の規定に基づく。卒業認定に必要な単位数は、○単位(専門科目●単位)以上。	
								(専攻科課程)単位あたりの時間数は様式第2号(その2●)に基づく。修了認定に必要な単位数は、○単位(専門科目●単位)以上。	



(注) ※提出時は注以降を削除

- 1 教育課程の変更承認申請の場合は、「教員以外の職員の概要」欄、「校舎」欄、「図書室」欄及び「併設学科の概要等」欄は空欄または削除して差し支えない。
- 2 「申請学科の概要」の欄について
  - ①「学科の名称」欄には、当該申請に係る学科の名称を記入すること。
  - ②当該申請に伴い併設学科又は当該学科の入学定員等を変更（振替）する場合には、「備考」欄にその内容を記入すること。
  - ③入学定員の変更承認申請の場合は、「入学定員」、「収容定員」の欄に変更後のそれぞれの定員（収容定員については、学年進行終了時の数）を記入するとともに、「入学定員」、「収容定員」の欄に申請時変更後の数を括弧書きで記入すること。
  - ④「承認を受けようとする時期」の欄には、承認を受けようとする年月日あるいは変更予定年月日を記入すること。
- 3 「教員組織の概要」の欄について  
当該申請に係る学科の教員組織を記入すること。なお、専任教員数については、当該指定学科等に所属する教員数を記入し、兼任教員（いわゆる非常勤講師）については、当該学科等に開設されている授業科目を担当している兼任教員の数を記入すること。
- 4 「教員以外の職員の概要」の欄について
  - ①当該申請に係る学科の業務を担う職員数を記入すること。
  - ②職種の空欄には、事務職員以外のものを記入すること。（契約職員、非常勤職員は「兼任」の欄に含める）
- 5 「校舎」の欄については、当該申請に係る学科と同一施設及び隣接する施設の面積を記入すること。
- 6 「教室等」の欄にある（ ）内にはそれぞれ他の学科等との共有の室数を記入すること。
- 7 「図書・設備」の欄については、当該申請に係る学科ごとに記入すること。【指定規則第五条の二(指定基準の特例)】により複数の学科で共有するなど当該申請に係る学科等ごとに記入できない場合は、総数を記入し、「備考」の欄にその旨を記入する。）
- 8 指定申請及び課程、入学定員の変更承認申請の場合は、「教員組織の概要」、「教員以外の職員の概要」、「校舎」、「図書・設備」、「看護師の資格を有する専任教員」の欄中、（ ）内に指定申請時には開設時の数、課程及び入学定員の変更承認時には変更の承認を受ける時の数を記入すること。その他の変更承認申請の場合は（ ）内は空欄で差し支えない。
- 9 「併設学科の概要」の欄には、当該申請に係る学科以外に既に開設している学科ごとに、申請時の状況を記入すること。
- 10 「臨地実習施設の概要」の欄には、当該申請に係る学科における臨地実習について、各実習科目ごとに臨地実習施設の数を記入するとともに、その実習施設における実習指導者数を記入すること。「計」の欄は、延べ数ではなく実数を記入すること。
- 11 授業科目の概要」の欄について  
「専任教員配置」の欄には、該当する授業科目を担当する専任教員の数を記入すること。その場合、1人の専任教員が複数の授業科目を担当する場合には、いずれか1つの授業科目に「1」を記入し、その他の授業科目には、「★」を記入すること。また、「備考」の欄には、履修方法及び卒業要件を記入すること。

様式第2号(その2①) 2年課程 (2023年度以降入学生用)  
 (指定規則第4条第2項に規定する学校の場合=2年課程)  
 教育課程と指定規則との対比表

学校名	虎ノ門 高等学校	学科名	看護専攻科
		適用入学生年度	●●年度

指定規則(別表3-2)		教育課程の内容					
教育内容	単位数	科目	1年		2年		単位数合計
			単位	(時間)	単位	(時間)	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	論理学	2	60			2
		心理学	2	60			2
		英語表現	1	30	1	30	2
		情報デザイン	1	30			1
		統計学	1	30			1
<b>基礎分野合計</b>		<b>8</b>	<b>基礎分野合計</b>				<b>8</b>
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること					
	健康支援と社会保障制度	4					
<b>専門基礎分野合計</b>		<b>14</b>	<b>専門基礎分野合計</b>				
専門分野	基礎看護学	基礎看護学総論	1	30			
		基礎看護学方法	1	30			
	地域・在宅看護論	5					
	成人看護学	3					
	老年看護学	3					
	小児看護学	3					
	母性看護学	3					
	精神看護学	3					
	看護の統合と実践	4					
	臨地実習	基礎看護学	2				
		地域・在宅看護論	2				
		成人看護学 老年看護学	4				
		小児看護学	2				
		母性看護学	2				
		精神看護学	2				
		看護の統合と実践	2				
<b>臨地実習小計</b>		<b>16</b>					
<b>専門分野合計</b>		<b>46</b>	<b>専門分野合計</b>				
<b>合計</b>		<b>68</b>	<b>合計</b>				

(注)「教育課程の内容」の欄には、学則に定める授業科目を指定規則の教育内容と対応させて記入すること。

指 定 規 則 (別表3-3)				教 育 課 程 の 内 容																											
教 育 内 容	単 位 数			高等学校			専攻科			1年		2年		単 位 合 計	内 容 各 単 位 数																
	高等学校	専攻科	合計	教科	科 目	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	時間	単 位	時間																		
基礎分野 科学的思考の基礎 人間と生活・社会の理解	6	10	16	国語	現代の国語	2			2	論理学	2	30			2	26															
					国語文化			2		2	心理学	2	60				2														
					論理国語	2	1	1	4	英語表現	1	30	1	30			2														
					…	…	…	…	…	情報デザイン	1	30					1														
					…	…	…	…	…	統計学	1	30					1														
					保健体育	体育	3	2	2	7	医療倫理	1	30																		
					保健体育	保健	2年「人体の構造と機能」で代替																								
					芸術	音楽Ⅰ			2		2																				
					芸術	美術Ⅰ			2		2																				
					看護	看護情報(「情報Ⅰ」の代替)			2		1	3																			
基礎分野合計				6				10				16				基礎分野合計				6				10				16			
専門基礎分野 人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	7	9	16	看護	人体の構造と機能	3	2	1		解剖生理学	2	60				26															
				看護	疾病の成り立ちと回復の促進			2		8	生化学	2	60																		
											臨床薬理学	3	90																		
専門基礎分野合計				8				14				22				10				16				26							
基礎看護学	8	4	12	看護	基礎看護	4	2	2		8	基礎看護学総論	1	30			12															
											基礎看護学方法	1	30	1	30																
											基礎看護学実践			1	30																
地域・在宅看護論	1	5	6	看護	在宅看護			1		1	地域・在宅看護概論	1	30		6																
											在宅看護技術	2	60																		
											在宅看護方法		2	90																	
専門分野小計				14				30				44				10				16				26							
臨地実習	2	4	6	看護	看護臨地実習	1	2	4		7	基礎看護学実習	2	90			10															
				看護	看護臨地実習			1		1	地域・在宅看護論実習	1	30	1	30																
				看護	看護臨地実習			2	2	4	成人看護学実習	2	90	2	90																
											老年看護学実習	2	90																		
臨地実習小計				10				16				26				10				26											
専門分野合計				24				46				70				26				70											
総合的な探究の時間																															
ホームルーム活動																															
その他																															
合 計				38				70				108				11				108											

別表に示す合計単位数を満たしているかを確認する。

科目「看護臨地実習」に代替する場合。

(注)必要時行を調整し作成すること。  
 「教育課程の内容」の欄には、学則に定める授業科目を指定規則の教育内容と対応させて記入すること  
 指定規則上の「専門分野 臨地実習」の( )の単位数は最低数を示している。臨地実習の総単位数は、指定規則の「臨地実習小計」以上となるよう記入すること

様式第2号（その2③）准看護師課程（2022年度以降入学生用）

（指定規則第5条に規定する学校の場合＝准看護師課程）

教育課程と指定規則との対比表

学校名	虎の坂 高等学校	学科名	衛生看護科
		適用入学生年度	●●年度

指定規則（別表4）				教育課程の内容					
区分・教育内容	時間数	単位数	教科	科目	1年	2年	3年	計 (単位数)	
									論理的思考の基礎
人間と生活・社会	35	1	地理歴史	地理総合	2			2	
高等学校学習指導要領に基づく教科・科目を記入。 ※代替した教科の記載例：「保健」を「疾病の成り立ちと回復の促進」に代替した場合。  ※「看護情報」は基礎分野に記入。			保健体育	保健	2年「疾病の成り立ちと回復の促進」で代替				
			看護	看護情報(情報Ⅰの代替)		3		3	
	科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号（その1）、様式第2号（その3）と整合性を持たせ記入すること								
基礎分野合計		70	2	基礎分野合計					
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	105	3	看護	人体の構造と機能	3		3	
	栄養	35	1	看護	人体の構造と機能		1	1	
	薬理	70	2	看護	疾病の成り立ちと回復の促進		1	2	
	疾病の成り立ち	105	3	看護	疾病の成り立ちと回復の促進		2	3	
	保健医療福祉の仕組み 看護と法律	35	1	看護	健康支援と社会保障制度			1	
	専門基礎分野合計					350	10	専門基礎分野合計	3
専門分野	基礎看護	看護概論	70	2	看護	基礎看護			
		基礎看護技術	245	7	看護	基礎看護			
		臨床看護概論	70	2	看護	基礎看護			
		基礎看護小計	385	11	基礎看護小計				
	成人看護 老年看護	210	6	看護	成人看護				
				看護	老年看護				
				看護	在宅看護				
	母子看護	70	2	看護	母性看護				
				看護	小児看護				
	精神看護	70	2	看護	精神看護				
	臨地実習	基礎看護	210	6	看護	看護臨地実習			
		成人看護 老年看護	385	11	看護	看護臨地実習			
		母子看護					70	2	看護
		精神看護	70	2	看護	看護臨地実習			
		臨地実習小計	735	21	臨地実習小計				
専門分野合計	1,470	42	専門分野合計						
総合的な探究の時間					2, 3年「看護臨地実習」で代替				
ホームルーム活動									
その他									
合計		1,890	54	合計					

注) 「教育課程の内容」の欄には、学則に定める授業科目を指定規則の教育内容と対応させて記入すること。



**留意点**

追加した施設（生徒人数・科目）について、使用開始となる全ての学年の指導計画を添付する。

※【変更前】【変更後】とも添付します。

〇〇科〇年臨地実習計画(▲▲年度実施)**【変更前】**

グループ	月	5				6				7				3	4
		週1	2	3	4	週1	2	3	4	週5	週1	週2	週3		
1G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●●教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆◆教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭			
2G 〇名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●●教諭				「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭		「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭			
3G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 〇〇総合病院 内科病棟 引率:〇〇教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭		「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭			
4G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆◆教諭					
5G 〇名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆◆教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭		「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭			



※【変更後】には、変更箇所が明確となるようマーキングや朱筆をする。

〇〇科〇年臨地実習計画(▲▲年度実施)**【変更後】**

グループ	月	5				6				7				3	4
		週1	2	3	4	週1	2	3	4	週5	週1	週2	週3		
1G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●●教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆◆教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭			
2G 〇名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●●教諭				「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭		「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭			
3G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 ▲▲総合病院 A1病棟 引率:〇〇教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭		「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭			
4G 〇名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●●病棟 引率:●□教諭		「老年看護学実習」 ▲▲総合病院 A3病棟 引率:〇〇教諭					
5G 〇名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆◆教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭		「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭			

変更箇所



記載例

※実習要項の該当箇所の添付も可能であるが、必ず、該当学年が使用する【変更後】の科目の実習要項を添付すること。

実習科目名	学年・ 単位数・ 時間数	実習内容
成人看護学実習Ⅰ	高3 4単位	<p>1. 実習目標 ●●●●●●●● ●●●●●●●●</p> <p>2. 週間計画（実習内容、臨地・学内区別等） ◆1週目（臨地4日、学内1日） 【1～4日目：臨地】 ・受け持ち患者について情報分析、必要な援助計画を立案した援助について看護師とともに実施。 【5日目：学内】 ・実施した援助計画について、・・・ ◆2週目・・・</p> <p>3. 評価 別紙評価表に基づき実施する。</p> <p>4. 単位認定基準 総点●点以上、出席時間数●●以上・・・</p>
地域・在宅看護論実習Ⅰ（保健センター）	専1 1単位 (45時間)	<p>1. 実習目標 ●●●●●●●● ●●●●●●●●</p> <p>2. 週間計画（実習内容、臨地・学内区別等）</p>

変更後の実習指導計画に基づき、科目ごとに具体的に記載すること。

## 記載例

実習指導体制について

臨地実習調整者の役割等、明記することが望ましい。

1. 実習指導のための教員間での連携体制	<p>・個別の実習の場合を列記するのではなく、学校があらかじめ指針として挙げている方法を記載する。</p>
2. 臨地実習指導者と教員との連携体制	<p>・個別の実習施設との連携体制を列記するのではなく、学校があらかじめ指針として挙げている方法を記載する。</p>
3. 実習中の安全管理体制	<p>ア 感染対策、イ 医療事故防止対策・事故時の対応、ウ 災害時の対応、エ 倫理的配慮、オ 個人情報の取扱い及び情報漏洩予防（SNS対策含む）、などを具体的に記載する。</p> <p>・実習施設について、遠方（学校から概ね2時間以上）を使用している場合は、生徒への配慮、指導体制について記載する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※具体的に実習要項に記載されている該当ページの添付も可としているが、変更後使用する予定の最新のものとする。</p> <p>※フローチャート、チェックリスト、承諾書など、実際に使用されているものがあれば参考のため添付すること。</p> </div>



06 各授業科目の内容を記載した書類

様式第2号（その3）

各授業科目の内容を記載した書類

授業科目名	地域・在宅看護論 I	履修学年	専攻科1年	単位数 (時間)	1 (15/30)
-------	---------------	------	-------	-------------	--------------

目 標	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号（その2）と整合性を持たせ記入すること。             </div>
-----	--

履修学年ごとに作成。

科目の時間数を分割して、様式をそれぞれ作成する場合。

学 習 内 容	学習内容ごとの目標	指導上の留意点 等

(注)

1 この書類は、教育内容がわかる資料（シラバス等）に代えても差し支えない。

09 校長及び教員の氏名、経歴、概要等を記載した書類

様式第3号

校長及び教員の氏名、経歴の概要を記載した書類

( ●●科 )

履歴書の番号	専任・兼任の別	職名	フリガナ 氏名(性別) 生年月日(年齢) (就任予定年月日)	担当授業 科目名	毎週担当 授業時間数			免許取得等 卒業大学(学校) 学部学科名称及び 卒業年月 (取得免許)	教歴 (臨床歴)	現職 (就任年月)
					校内授 業	臨地 実習	計			
1	専任	校長	□□ □□ ●● ●● (○) ●●年●月●日 (△才)					●●大学大学院□□科卒業 (○年○月○日) 高等学校教諭(数学)専修	35年	●○年○月
2	専任	教諭	□□ □□ △△ △ (△) ●●年●月●日 (△才) (◆◆年◆月◆日)	基礎看護 看護臨地実習 (小児看護)	10	4	14	●●大学□□科卒業 (○年○月○日) 看護師免許(第●●号) 保健師免許(第□□号) 高等学校教諭(看護)一種	25年 (看護師5年)	
3	専任	教諭	モンカ ハナミ 文科 華美(女) ●●年●月●日 (□才) (◆◆年◆月◆日)						(看護師8年)	
~~~~~										
25	兼任	講師	●● ●● (○) ●●年●月●日 (□才) (◆◆年◆月◆日)	薬理学	4 単位		4 単位	●●大学大学院□□専攻 科卒業	(看護師8年)	

申請と同時に就任の場合は就任予定日を記載。

週担当時間の算出が難しい場合は「4単位」のように単位数で明記してもよい。

校長及び教員の履歴書

履 歴 書						
フリガナ 氏 名	モンカ ハナミ 文科 華美	男 (女)				
生年月日(年齢)	●●年●月●日 (△才)	現住所	東京都○○○…………			
学 歴						
年 月	事 項					
◆◆年◆月	●●大学□□科卒業					
◆◆年○月	看護師免許 (第△△△△号) 取得					
□□年□月	……………					
職 歴						
年 月	事 項					
◆◆年◆月	●●県立中央病院看護師 (外科病棟) (○○年○月まで)					
年 月	……………					
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動						
年 月	事 項					
◆◆年◆月	日本○○学会会員 (現在に至る)					
◆◆年◆月	●●県立教育課程研究会委員 (現在に至る)					
年 月	……………					
賞 罰						
年 月	事 項					
年 月	……………					
年 月	……………					
職 務 の 状 況						
勤 務 先	職 名	学 科 (所属部局の名称)	担当授業科目名	毎週担当授業時間数		
				専任	兼任	計
○○高等学校	教諭	看護科	基礎看護	5単位		
			臨地実習 成人看護学実習	10単位		
本人が内容確認をした年月日。 ●●年●●月●●日						
確認者名 氏名 文科 華美						

看護師等医療従事者免許取得に係る学歴及び取得した免許(登録番号)についてはすべて記入する。

職歴は、様式3号の記載内容と一致させる。

現在の職務の状況、または、就任後に予定されている職務の状況について記入。

週担当時間数の算出が難しい場合は単位数でもよい。

本人が内容確認をした年月日。

上記のとおり相違ありません。

11 実習施設に関する書類

様式第5号（その1）  
（指定申請の場合）

作成日：●●年●月●日

実習施設に関する書類  
総括表

No	実習施設名	当該実習施設を使用する科目名	実習施設における実習指導者 (所属・資格名) (臨床経験年数)	備考
1	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 小児看護学実習	〇〇〇〇 (内科病棟, 看護師 30年) 〇〇〇〇 (内科病棟, 看護師 8年) 〇〇〇〇 (泌尿器外科病棟, 看護師 15年) 〇〇〇〇 (小児科病棟, 看護師 22年)	
2	△△クリニック	小児看護学実習	△△△△ (小児科, 看護師 10年) △△△△ (小児科, 看護師 15年)	
3	□□市立病院	成人看護学実習	〇〇〇〇 (整形外科病棟, 看護師 25年) 〇〇〇〇 (整形外科病棟, 看護師 15年) .....	
4	老人保健福祉施設■	地域・在宅看護論実習	■■■■ (看護師 15年) ■■■■ (介護福祉士 10年)	別紙添付
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>実習施設における実習指導者が、看護師に係る免許を有していない場合別紙を添付し、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを証明する書類（任意様式）を添付。 ※実習指導者は各施設2名以上の記載をお願いします。</p> </div>				

(注)

- 1 「実習施設における実習指導者（所属・職名）（経験年数）」の欄は、当該実習施設の実習指導者をすべて記入し、本務の所属先、当該学校種別に係る臨床経験（業務従事）年数を記入すること。
- 2 実習施設における実習指導者が、養成しようとする資格に係る免許を有していない場合は、その実習指導者が実習目的に照らして適切であることを説明する書類を添付すること。（様式自由）
- 3 使用する実習施設の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 4 提出の際は（注）以下を削除すること。

実習施設に関する書類  
総括表

申請日とする。

前回、申請済の様式第5号（その1）の施設名、科目名をもとに作成。

【科目追加の場合】追加後、備考欄にも記入。  
※（その2）（その3）は不要。

【実習施設名称変更の場合】新規名称を記入後、備考欄に記入。  
※（その2）（その3）は不要。

【実習施設を削除する場合】Noは付けない。  
※施設使用休止中であっても削除不要。  
※削除すると、使用再開時に再申請が必要。

今回削除した施設があっても、削除する前の施設数を記入。

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
1	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	
2	△△クリニック	小児看護学実習	△△クリニック	小児看護学実習	
3	□□医療センター	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	□□医療センター	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習 ※小児看護学実習	※科目追加
4	〇〇町訪問看護ステーション	地域・在宅看護論実習	訪問看護ステーション ▲▲	地域・在宅看護論実習	※〇〇年▲月施設名称変更
5	△△整形外科	成人看護学実習	△△整形外科	成人看護学実習	
23	~~~~~				
	〇〇病院	小児看護学実習			削除
24	●●幼稚園	小児看護学実習	●●幼稚園	小児看護学実習	〇〇年●月●日追加申請中
25			□□市立病院	成人看護学実習	新規
26			〇〇県立▲▲特別支援学校	基礎看護学実習	新規
合計実習施設数 ( 25 ) 施設			合計実習施設数 ( 26 ) 施設		
変更後に新規に使用する実習施設名		当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 (所属・資格名) (臨床経験年数)		備考
□□市立病院		成人看護学実習	〇〇〇〇 (内科病棟、看護師 30年) 〇〇〇〇 (内科病棟、看護師 8年) 〇〇〇〇 (泌尿器外科病棟、看護師 15年) 〇〇〇〇 (小児科病棟、看護師 22年)		
〇〇県立特別支援学校▲▲		基礎看護学実習	●●●● (養護教諭 15年) ●●●● (教諭 10年)		別紙添付
実習施設における実習指導者が、看護師に係る免許を有していない場合別紙を添付し、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを証明する書類（任意様式）を添付。 ※実習指導者は各施設2名以上の記載をお願いします。					

(注)

- 「現行」及び「変更後」の欄には、当該申請校に係る使用する全ての実習施設についてまとめて記入すること。
- 1実習施設について、2以上の授業で使用する場合、「当該実習施設を使用する授業科目名」の欄にすべての授業科目名を一括して記入すること。
- 「変更後に新規に使用する実習施設名」の欄は、該当する実習施設がある場合のみ記入すること。
- 「実習施設における実習指導者」の欄には、当該実習施設の実習指導者をすべて記入し、本務の所属先、当該学校種別に係る職名及び臨床経験（業務従事）年数を記入すること。
- 使用する実習施設の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 実習施設における実習指導者が、養成しようとする資格に係る免許を有していない場合は、当該申請校の実習指導体制及びその実習指導者が実習目的に照らして適切であることを説明する書類を添付すること。（様式自由）

様式第5号(その2)

※文部科学省高等教育局医学教育課「文部科学大臣が指定する看護師学校等の指定申請等提出書類の作成手引」(12版はp.46～)に記載されている事例を参照し作成すること。

## 実習施設の概要

名称	社会医療法人●●●医療センター							職名・氏名を記入。
位置	●●県……							
設置者等	社会医療法人●●会	管理者	センター長 ●● ●●					
設置年月日	●●年●月●日							必ず年月日を記載。
診療科名等	循環器内科、……						合計 18診療科	
病床	病床種	一般					合計	
	病床数	250					250	
最近の患者数等	○○年度 入院患者数 延●●●●人、外来患者数 延●●●●人 □□年度 入院患者数 延□□□□人、外来患者数 延□□□□人							申請前年度、前々年度とする。
学校からの距離等	距離	交通機関			片道所用時間			
	5.2km	●●線			30分			
実習生受入状況 (□□年度)	学校等名		年間受入延人数(実数)					
	A大学		120			(60)		
	B看護専門学校		60			(30)		
指定規則に定める設備	記載不要。							

(注)

- この様式は、医療法(昭和23年法律第205号)第1条の5に定める病院を実習施設として使用する場合の例であり、診療所、助産所、その他の施設の場合には、適宜項目の変更又は追加をすること。
- 実習施設が複数にわたる場合は施設別に記載すること。
- 「診療科名等」の欄には、当該実習施設において、標榜する診療科名や実施している事業名等をすべて記入するものとし、理学療法部、救急部等の診療科として位置付けられていない診療部門については、記入を要しない。(適宜枠を増やして記入すること。)
- 「最近の患者数等」の欄について  
保健師・助産師・看護師学校にあつては、最近2年間(申請書提出時の前年度及び前々年度)の年別の入院患者延数、外来患者延数、分娩取扱数を記入すること。訪問看護ステーションについては、訪問回数の年間延数を記入すること。それ以外の施設については、診療科名等に記載した事業の年間利用者数を記入すること。
- 「学校からの距離等」の欄には、当該申請校からの公共交通機関等を利用した場合の距離等を記入する。
- 「実習生受入状況」の欄には、申請時の前年度における当該実習病院の年間の受入れ学校名及び受入れ延人数、( )内には実数を記入すること。(学校等数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。)
- 実習施設の変更承認申請の場合には、変更後に新規に使用する実習施設についてのみ作成すること。
- 提出の際は(注)以下を削除すること。

使用する実習施設ごとに記入しますが、2以上の施設で開設者等が同一の場合は、実習施設名を併記しても差し支えない。

承 諾 書

●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の実習施設として、●年 ●月 ●●日より医療法人●● ●●病院、○○病院を使用することを承諾します。

実際に実習施設として使用を開始する時期。

○○年 ●月 ●●日

承諾に際して付した条件

・実習を行う際には、事前に受け入れ人数及び実習内容、計画について事前に調整を行うこと。

開設者又は長の職名・氏名

医療法人●● ●●病院長 ●●●●

学校法人○○○ ●● ●●●● 殿



# 看護師学校等指定・変更承認申請書類 チェックリスト

○ 確認欄の記載について：申請に係らない項目には一、該当する欄には内容を確認後、○を選択し入力すること。

番号	様式	提出書類	チェック項目	確認
00	全体		提出する電子データのファイル名・形式は合っているか。PDFにした 切れがないか	○
01	第1号	指定申請書	指定学校名(看護師学校等)は正しいか。	○
		変更承認申請書 指定取消し申請書 変更届出書 報告書	必要書類等は申請内容・条件によって変わるので最新の申請様式に基づき確認・準備すること。 令は正しいか。(看護師学校等の関係法令を参照。)	○
02	第1号	【指定申請書の場合】設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類	1 資料の設置趣旨等を記入しているか。 2 看護職の需給・関係機関からの要望書など必要な書類を添付しているか。	-
		【変更承認申請の場合】変更事項、変更年月日、変更する理由及び変更に伴い措置した事項を記載した書類	1 変更事項を記入しているか。 2 変更年月日を記入しているか(実習施設の場合は、使用開始年月日より前)。 3 変更する理由は、現行の課題とそれに対する自己評価、教育方針及び変更の必要性と期待される教育効果等について詳しく記入しているか。 4 措置した事項について、変更前後の内容が明確にわかるよう、簡潔かつ具体的に記入しているか。(変更の概要が分かる書類・図面を添付するなど)	○
03	第1号 添付 任意 様式	事務担当者連絡先の記載	5 事務担当者(所属、役職、氏名、電話番号、e-mail)を記入しているか。	○
04		【指定取消し申請書の場合】指定の取消しを受けようとする理由、予定時期、在学中の生徒があるときは	1 申請は、在学生がいなくなることが確定した時点で速やかに行ったか。	-
05	第2号 その1	学校の概要を記載した書類	1 設置年月日、指定年月日を記入しているか。	-
			2 指定規則に定められている、教務主任者を記入しているか。	-
			3 申請学科等の概要、入学定員等を記入しているか。	-
			4 教員組織の専任教員及び兼任教員等数は、様式3号と一致しているか。	-
			5 看護師の資格を持つ専任教員は、合計人数が規定の必要人数を満たしているか。(2年課程7人、5年一貫課程8人、准看護師課程3人以上)	-
			6 教室・図書室、図書・設備は既定の数を満たしているか。	-
			7 臨地実習施設の概要の施設数(合計)は、様式5号その1と一致しているか。	-
			8 授業科目の概要に挙げる科目名は、様式第2号その2と一致しているか。	-
	9 授業科目の概要の備考欄に、卒業認定要件が記入されているか。	-		
	第2号 その2	教育課程と指定規則との対比表	1 学科ごとに対比表を作成しているか。 2 対比表に定められた単位数以上を記入しているか。 3 【新規】の対比表には、「変更後」と右上に記載し、該当する箇所をマーキングしているか。(指定の場合は除く)	-
05-1	第2号 添付①	校舎等建物の配置図(教育課程変更除く。)	1 校舎等建物の配置図を添付しているか。	-
05-2	添付②	校舎等建物平面図(各室の面積を記載し、専用と共用が分かるようにマーキングすること。)(教育課程変更除く。)	1 指定規則で定められている、図書室及び専用の実習室等の平面図を添付しているか。	-
			2 各室の面積を記入し、専用と共用が分かるようにマーキングして添付しているか。	-
05-3	添付③	校舎が未整備の場合にはその工程表、未着手のものは工事計画	1 校舎が未整備の場合にはその工程表、未着手のものは工事計画を添付しているか。	-
05-4	添付④	専門科目に係る主たる図書の目録(様式自由)(指定申請のみ)	1 当該申請校に相応しい専門科目に係る主たる図書の目録を添付しているか。	-
05-5	添付⑤	専門科目に係る機械器具、標本、模型の名称及び数を記載した書類(様式自由)(指定申請のみ)	1 当該申請校に相応しい専門科目に係る機械器具等を添付しているか。	-
05-6	添付⑥	申請年度の収支予算及び開設(変更)後2年間の財政計画を記載した書類(公立の学校を除く。)	1 資金収支予算書、及び向こう2年間の財政計画の書類を添付しているか。	-
05-7	添付⑦	教育課程変更前と変更後の新旧対照表(指定の場合は除く。)	1 【旧】の対比表に、「変更前」と右上に記載し、該当する箇所をマーキングしているか。	-
05-8	添付⑧	実習指導計画(変更する科目の年次別実習計画) (臨地実習を含む授業科目に変更がない場合は不要。)	1 変更する年次(学年)の実習計画(実習時期・期間、実習施設、生徒・教員の配置)を添付しているか。(指定申請時は全ての年次、変更の場合は該当の年次)	-
			2 変更後の科目について、実習目標・内容が記載(もしくは具体的に分かる資料《実習要項の該当部分など》)の添付がされているか。(指定申請時は全ての年次)	-



05-9	添付⑨	実習指導体制 (指導方針・要領, 実習先との連携体制など) (実習時期, 実習内容など) (臨地実習を含む授業科目に変更がない場合は除く。)	1 教員間の連携体制を記入しているか。	-
			2 臨地実習指導者と教員との連携体制を記入しているか。	-
			3 実習中の安全管理体制等(感染対策, 事故対策, 災害時の対応, 倫理的配慮・個人情報及びプライバシーの保護など)を記入しているか。	-
			4 実習施設が遠方の場合, 学生への配慮, 指導体制についても記載しているか。	-
06	第2号 その3	各授業科目の内容を記載した書類	1 申請に該当する科目について全て揃っているか。 (指定申請時は全ての学年)	-
			2 科目名・履修学年・単位数等は第2号(その2①~③)に示したものと一致しているか。	-
			3 教育内容には, 該当する指定規則別表(別表3-2, 3-3, 4)に定めるものを踏まえ記入されているか。	-
07	任意様式	理事会等の議事録(理事会等に付議していない場合は, 意思決定過程がわかる資料)※公立は除く	1 日時, 場所, 出席者, 審議事項が記入されているか。	-
08	任意様式	学則 (実習施設変更などの場合は除く)	1 新学則を添付しているか。	-
			2 申請に伴い学則の変更がある場合は, 新旧比較対照表を作成し添付しているか。	-
09	第3号	校長及び教員の氏名, 経歴, 概要等を記載した書類	1 専任, 兼担, 兼任の順で記入しているか, また, 職名ごとに順番に記入しているか。	-
			2 当該申請に係る指定学校の就任時の満年齢を記入しているか。	-
			3 保助看学校教務主任者を記入しているか。	-
			4 就任(予定)年月(学則の変更承認申請の場合には, 学則変更時の年月)を記入しているか。	-
			5 担当授業科目ごとに担当単位数を記入しているか。	-
			6 当該申請に係る免許及び登録番号を記入しているか。	-
			7 当該指定に係る実務経験(教育経験年数及び臨床経験年数)を記入しているか。	-
			8 臨床経験年数は, 当該教員の有している免許ごとに記入しているか。	-
10	第4号	校長及び教員の履歴書	1 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を全て記入しているか。	-
			2 医療従事者免許取得に係る学歴及び取得した免許(登録番号)等を全て記入しているか。	-
			3 職歴と様式第3号実務経験年数(教育経験年数及び臨床経験年数)が一致しているか。	-
	第4号 添付①	教員の免許状等の写し	1 様式第3号に付した履歴書の番号順に並べているか。	-
11	第5号 その1	実習施設に関する書類(総括表)	1 実習指導者が当該資格に係る免許を有していない場合, 実習指導者として適切であることを説明する書類を添付しているか。	○
			1 実習施設概要は施設の種別・設置形態に合わせて項目を変更・追加し記入しているか。	○
	第5号 その2	実習施設に関する書類(実習施設の概要)	2 管理者の職名・氏名を記入しているか。	○
			3 設置年月日を記入しているか。(年月だけでは不可。)	○
			4 診療科名等(又は事業内容等)を記入しているか。	○
			5 最近2年間の患者数等(又は利用者数等)を記入しているか。	○
			6 実習施設が遠方の場合, 学生への配慮, 指導体制を説明する書類を添付しているか。	-
第5号 その3	実習施設に関する書類(承諾書)	1 使用開始年月日を記入しているか。	○	
2 開設者又は長の職名・氏名を記入しているか。	○			
11-8	第5号 添付⑧	当該申請校における年次別実習計画(実習時期, 実習内容など)	1 該当する学年の実習計画(実習時期・期間, 実習施設, 生徒・教員の配置)を【変更前】【変更後】に区別し作成し添付しているか。 (変更箇所が分かるようにマーキングなどする)	○
			2 変更後の科目について, 実習目標・内容が記載(もしくは具体的に分かる資料《実習要項の該当部分など》)の添付がされているか。	○
11-9	添付⑨	実習指導体制 (指導方針・要領, 実習先との連携体制など) (実習時期, 実習内容など) (臨地実習を含む授業科目に変更がない場合は除く。)	1 教員間の連携体制を記入しているか。	○
			2 臨地実習指導者と教員との連携体制を記入しているか。	○
			3 実習中の安全管理体制等(感染対策, 事故対策, 災害時の対応, 倫理的配慮・個人情報及びプライバシーの保護など)を記入しているか。	○
			4 実習施設が遠方の場合, 学生への配慮, 指導体制についても記載しているか。	-

作成日

学校・学科・申請内容

○○高等学校・○○科・実習施設の変更

## 文部科学大臣が指定する看護師学校等の関係法令

区 分	指 定 申請書	変更承認申請書				指 定 取 消 し 申 請 書	変 更 届 出 書	
		学 則 の 変 更		そ の 他 の 承 認 を 要 す る 変 更				
関 係 法 令	保健師助産師看護師法施行令 昭和28年12月8日 政令第386号	新規指定 (第12条)	課程、修業年限、 入学定員の変更	教育課程 の変更	校舎の各室の 用途及び面積 の変更	実習施設 の変更	指定の取り消しを 受けようとするとき (第17条)	主務大臣が 定める事項 (第13条第2項)
	診療放射線技師法施行令 昭和28年12月8日 政令第385号	" (第8条)	修業年限、入学 定員の変更	"	"	"	" (第13条)	" (第9条第2項)
	臨床検査技師等に関する法律施行令 昭和33年7月21日 政令第226号	" (第11条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第12条第2項)
	理学療法士及び作業療法士法施行令 昭和40年10月1日 政令第327号	" (第10条)	"	"	"	"	" (第15条)	" (第11条第2項)
	視能訓練士法施行令 昭和46年7月16日 政令第246号	" (第11条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第12条第2項)
	言語聴覚士学校養成所指定規則 平成10年8月28日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	臨床工学技士学校養成所指定規則 昭和63年3月28日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	義肢装具士学校養成所指定規則 昭和63年3月28日 文部省令・厚生省令第3号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	救急救命士学校養成所指定規則 平成3年8月14日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	歯科衛生士法施行令 平成3年6月28日 政令第226号	" (第3条)	"	学科課程 の変更	"	"	" (第8条の2)	" (第4条第2項)
	歯科技工士法施行令 昭和30年9月7日 政令第228号	" (第10条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第11条第2項)
	あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律施行令 平成4年9月24日 政令第301号	" (第2条)	修業年限、生徒の 定員の変更	教育課程 の変更	"	※	" (第7条)	" (第3条第2項)
	柔道整復師法施行令 平成4年9月24日 政令第302号	" (第3条)	"	"	"	※	" (第8条)	" (第4条第2項)

※ あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師学校及び柔道整復師学校の実習施設の変更については届出事項となる